

決算

令和元年度 決算報告

令和元年度の一般会計の決算規模は、歳入総額266億6153万円、歳出総額255億4294万円となり、歳入歳出ともに前年度を下回りました。

02 特別会計決算

特別会計とは、料金収入などにより特定の事業を行う場合に経理を明確に区分するために設ける会計のことです。令和元年度は6つの特別会計を設けており、それぞれの決算額は右のようになりました。

会計区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険	61億6313万円	60億8578万円	7735万円
後期高齢者医療	6億6678万円	6億6528万円	150万円
土地区画整理事業	2億 843万円	2億 843万円	0万円
競輪事業	150億4004万円	146億1259万円	4億2745万円
給湯事業	2151万円	1829万円	322万円
新工業団地整備事業	1億2345万円	1億2345万円	0万円

03 企業会計決算

企業会計とは、特定の事業を行う会計のうち、地方公営企業法の適用を受けて独立採算を行う会計で、武雄市には3つの会計があります。

区分		収入	支出	差引
水道事業	収益的	13億8803万円	15億6766万円	△1億7963万円
	資本的	5782万円	5億5364万円	△4億9582万円
工業用水道事業	収益的	5453万円	5801万円	△348万円
	資本的	0万円	1674万円	△1674万円
下水道事業	収益的	13億5242万円	11億3199万円	2億2043万円
	資本的	5億1115万円	10億2198万円	△5億1083万円

3つの会計とも赤字となっていますが、それぞれ貯金等で対応しています。

※収益的：営業活動によるもの
資本的：建設改良などによるもの

04 健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和元年度決算における「健全化判断比率」をお知らせします。この指標は、値が小さいほど財政が健全であることを示します。武雄市は、いずれの指標も基準内をキープしています。

指標	武雄市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	12.93	20.0
連結実質赤字比率	—	17.93	30.0
実質公債費比率	8.6	25.0	35.0
将来負担比率	25.5	350.0	基準なし

(単位：%)

▼実質赤字比率

一般会計等の赤字額の標準的な収入規模に対する割合です。武雄市は黒字でした。(県内全て黒字)

▼連結実質赤字比率

市の全会計(一般会計、特別会計及び企業会計)を合算した赤字額の標準的な収入規模に対する割合です。武雄市は黒字でした。(県内全て黒字)

▼実質公債費比率

一般会計等の借入金の返済額の標準的な収入規模に対する割合です。武雄市は8.6%で前年度より0.4%上昇しました。

▼将来負担比率

借入金の返済など将来支払うべき負債額の標準的な収入規模に対する割合です。武雄市は25.5%で、前年度より4.7%上昇しました。

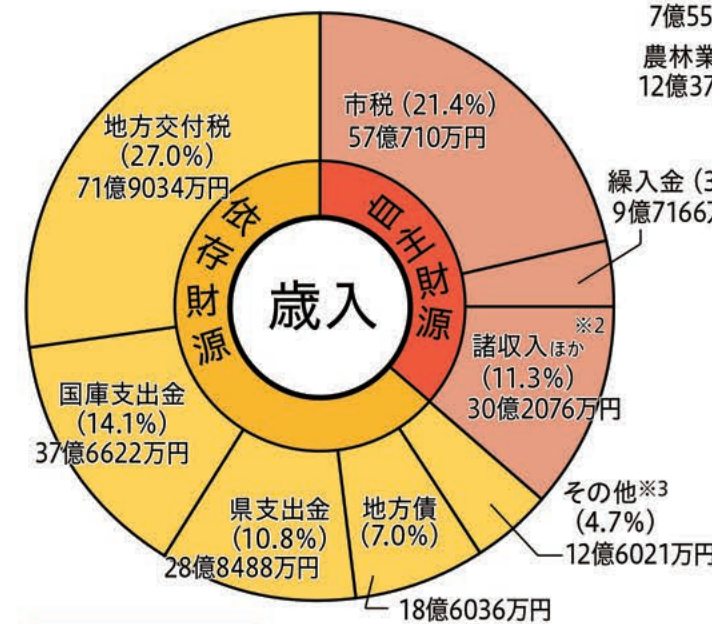
01 一般会計決算

一般会計とは、皆さんからの税金などを財源として、福祉、教育、まちづくりなど市の基本的な行政運営を行う会計です。

歳入総額 **266億6153万円**
(市民一人当たり約55万円)※1

歳出総額 **255億4294万円**
(市民一人当たり約52万円)※1

自主財源・・・市が独自に徴収することができるお金
依存財源・・・国や県などから入ってくるお金



● 歳入の特徴

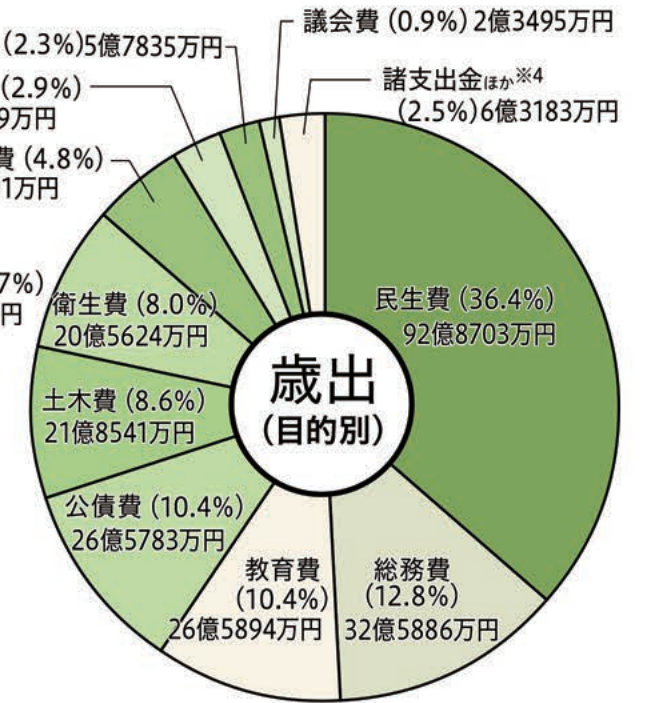
一般会計歳入総額は266億6153万円となり、前年度と比較して3億5827万円(△1.3%)の減となりました。8月豪雨災害の発生により地方交付税や国庫支出金、県支出金等の依存財源が増加しました。

※1 市民一人当たりの金額は、令和2年1月1日現在の住民基本台帳人口48,854人で算出

※2 「諸収入ほか」は、諸収入、繰越金、寄附金、財産収入、分担金・負担金、使用料・手数料の合計

※3 「その他」は、地方譲与税と地方消費税交付金などの各種交付金の合計

※4 「諸支出金ほか」は、諸支出金、災害復旧費、労働費の合計



● 歳出の特徴

一般会計歳出総額は255億4294万円となり、前年度と比較して3億1837万円(△1.2%)の減となりました。8月豪雨災害の発生により、災害復旧費や災害関連の民生費が増加しました。

令和2年度上半期 歳入歳出予算の執行状況

武雄市では、財政状況の公表を年2回行っています。令和2年度上半期の財政状況(令和2年9月30日現在)は次のとおりです。

会計名	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	353億 310万円	161億4334万円	165億3023万円
特別会計	269億3989万円	118億1561万円	107億5557万円

・特別会計…令和2年度は国民健康保険、後期高齢者医療、競輪事業、給湯事業、新工業団地整備事業の5つ。

○一般会計の市債(借入金)の現在高

265億7898万円 ・市債…公共施設を整備するため等の借入金

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策関係予算が増加しています。必要な対策を取りつつ、今後もより一層の経費削減と効率的な財政運営に努めます。